

会議議事録（要旨）

会議の名称	令和5年度 第1回三豊市男女共同参画社会づくり推進協議会
開催日時	令和5年7月11日（火）10:00～11:48
開催場所	みとよ未来創造館2階 会議室A・B
出席者氏名	山神委員、北川委員、前田委員、大矢根委員、秋山委員、草薙委員、柚本委員、福岡委員、佐藤委員、石川委員、小林委員
欠席者氏名	三崎委員、宮崎委員、高橋委員、瀧本委員
事務局職員氏名	市民環境部 米谷部長、人権課 曾根課長、高木主任
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱状交付 3 市長あいさつ 4 委員及び事務局自己紹介 5 議事 <ol style="list-style-type: none"> （1）第3次三豊市男女共同参画プランの令和4年度進捗状況について （2）令和5年度三豊市男女共同参画に関する事業計画（案）について 6 閉会
配付資料	<p>議題資料1－1 第3次三豊市男女共同参画プランの進捗状況</p> <p>議題資料1－2 第3次三豊市男女共同参画プランに掲げている目標に対する状況（令和4年度実績）</p> <p>議題資料1－3 第3次三豊市男女共同参画プラン施策の具体的取組状況一覧（施策体系別：令和4年度実績）</p> <p>議題資料2－1 令和5年度の主な男女共同参画に関する事業計画（案）</p> <p>議題資料2－2 第4次三豊市男女共同参画プラン施策の具体的取組状況一覧（施策体系別：令和5年度目標）</p> <p>参考資料1 三豊市男女共同参画社会づくり推進協議会 委員名簿</p> <p>参考資料2 三豊市の男女共同参画の推進体制</p> <p>参考資料3 三豊市男女共同参画社会づくり推進協議会設置条例、三豊市男女共同参画推進条例</p> <p>次第、「第4次三豊市男女共同参画プラン」冊子、「第4次三豊市男女共同参画プラン」ダイジェスト版</p>
その他	危機管理課、秘書課、人事課、産業政策課、健康課、介護保険課、保育幼稚園課、福祉課、子育て支援課、農林水産課、学校教育課、生涯学習課 出席

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・出席者確認 ・委嘱状交付 ・副市長挨拶
各委員、事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介
山神会長	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の公開について説明
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・最初に、会議の公開について異議がないか確認したい。（異議なし） ・議事（１）第３次三豊市男女共同参画プランの令和４年度進捗状況について、事務局より説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・配付資料確認 ・議題資料１－１、１－２、１－３説明
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・（資料）１－２について、私から確認と補足をする。2021年（令和３年）度の数値は、市民に対するアンケート結果から出てきた。その横の2022年度は、最終目標で立てていた数値である。達成状況については、自己評価。市の担当課で「◎・○・△・×」を印して出したものであることを含みおきいただきたい。 ・５年間を通して達成目標を立てる場合に、最終目標に向けて前倒しで評価するという、こういった習慣に通常なっている。２年前にアンケート調査をして、４年度は長期に渡り第４次について検討してきた。 ・そこを踏まえて、意見や質問があれば伺いたい。
柚本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・記述の問題だが、「目標・基本目標」「状況・進捗状況」「西暦・元号」等の表現は、統一する必要がある。 ・資料１－３のNo.9について、私はネットワーク会議の会長として質問するが、「コロナのために団体等のイベントの収集及び周知ができなかった」ということで「×」になっているのはよく分かる。ネットワークを構成している各団体の状況をどのように把握しているのか。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・前半は、記述の仕方の統一性をきちんとしてほしいという意見であった。 ・後半について、分かる範囲で回答をお願いする。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・人権課は、ネットワーク会議の事務局として役員会やイベントに出席して意見交換をしているところです。昨年度はまだ、コロナの影響があった状況の中で、行事ができなかったという意味合いで、実施状況は「×」になっています。
柚本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・加入各団体等の情報の収集について聞きたい。22団体の事務局とのつながりもある。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の対応、情報入手はどうですかということ。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の情報集約は、把握していません。年度初めに、団体の大まかな活動内容の把握ぐらいしかできていません。
柚本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体にコンタクトしている訳ではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現状はそうです。

議事内容（要旨）	
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> 各団体、レベルの違いややり方の違いがあると思うが、年度計画を立てるので、そういったものを提出してもらって、それに対する確認をする等、何らかの形でやっていないと評価も付けられない。
秋山委員	<ul style="list-style-type: none"> (資料1-3) 11ページのNo.146と148の「×」が付いている2点について、令和3年度も令和4年度も「コロナ禍により未実施」となっている。事業の内容は「人権尊重」のところで「国際交流活動の促進・国際理解活動への協力」と「外国人向け文化体験講座の開催」である。私にはベトナムからの研修生の友人がいて、日本での生活がどんなに大変か聞いている。この2点については、このような人たちが日本での生活を存続していけるかどうか、大きな役割を果たすものだと思う。コロナがすごかったからといって、2年間バツサリ切っ飛ばしていい項目だったのか。プランを立てたからといって、このとおりにいけないうものではない。コロナでできないというのであれば、オンラインで友好を深めてもOKな項目であると思う。今後新しいプランでやっていくのに、「×」にならないように何か工夫をしていただけたらうれしい。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> 担当の秘書課、どうか。
秘書課担当	<ul style="list-style-type: none"> オンラインとかの新しい形で実施できるように取り組んで参りたいと思います。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> イベントとかは対面でやることを前提に計画を立てているので、こういう結果になったと思う。関わり方、支援の仕方はいろいろあるので、状況に応じた柔軟な支援については秋山さんの言うとおりでと思う。 秘書課が担当している経緯が、僕自身クエスチョンである。1つの担当だけでできる問題ではない内容が含まれている。主担当・副担当のような形とか、担当の仕方についても、柔軟にできる体制を考えられたらと思う。
柚本委員	<ul style="list-style-type: none"> (資料1-3) No.176、これだけではなく上からずっと続いている項目であるが、私は昔、人権擁護委員をやっていて、人権は「女性・児童・高齢者・障がい者」である。ここに「女性」が抜けているが、どこかに入っているのか。No.172~175の具体的施策の文言が「児童・高齢者・障がい者等への虐待の予防と対策」である。この中に「女性」を含めていないのはなぜか。5年3月に策定した中にも入っていない。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> 4年度の終わった部分はどうしようもない。 5年度は、「人権の尊重」を第1の基本目標に順番を入れ替えた。具体的内容として「女性の人権に配慮した」という言葉は入っている。これについては、私たちが検討してきた結果の部分なので、私たちにも責任はある。もっと確認・チェックをすべきだった。私たちが検討した結果こういう文言になっていることを踏まえると、「誰もが」というところで拡大解釈をせざるを得ないのかなと思う。「女性」「男性」という書き方をしていないことは、まさに多様性、ダイバーシティである。あえて「女性が」を強調しない部分も、解釈としてここに込められている。

議事内容（要旨）	
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・議事（２）令和５年度三豊市男女共同参画に関する事業計画（案）について、事務局より説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・議題資料２－１、２－２説明
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・追加資料は、第３次プランと第４次プランの施策体系の比較ができるように用意してもらった。 ・第４次プランはこれからのことなので、前向きな視点で意見・質問を出してもらえると事務局も参考になる。委員の皆様には一言ずつ、コンパクトな提案や意見をお願いします。
草薙委員	<ul style="list-style-type: none"> ・多岐に及んでいて、まとめるのも大変だと思う。なかなか思うようにいかないことも多々あるが、チェックをやってもらいたい。チェックをしても人の見方によっていろんな意見が出てくると思うが、その辺の精査をしてもらいたい。
秋山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・広報に載っている男女共同参画の内容が難しすぎる。漢字も多く誰が読めるのか、誰が中身を理解できるのかとと思っていた。特別支援学校では、１０歳の読み書きができることを目指している。１０歳ぐらいなら社会に出て、自立していけるだろうということで、子どもたちを育てている。広報みとよは大学を卒業されたような人が読むことを前提に作っていて、賞ももらっており、しっかりしたい広報だと思うが、そのような人だけが市民ではない。１０歳の子どもの見たときに、少しでも分かるような部分を入れてほしいと思う。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・草薙委員は、チェック体制のことであった。 ・アンケート調査はいつ頃からできるかという、実は小学４年生ぐらいからである。 ・分かりやすい広報とはそのとおりなので、工夫をされたらと思う。
福岡委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私は幼・小・中とＰＴＡに関わっている。昨年ぐらいから、卒業式・入学式の入場の仕方が変わって、男女混合になった。会長をしていたこともあり、校長先生とのやり取りの中でこの話を聞いたが、知らない親が多かったのではないかと。親に対して、男女共同参画とか男女差別なくという説明を、ＰＴＡの会でしてもらえれば。「入場の仕方を見て分かったと思いますけど」と説明すれば、分かりやすいのではないかと。 ・民間保育所の延長保育も、どんどん進めて行ってほしい。 ・今、保健所で働いているが、この３年間まるまるコロナ対応であった。職場は、保健師を中心にほぼ女性。ものすごいパワーを感じる。夜中まで仕事しても、次の日ちゃんと来る。家のことは「旦那がしてくれる」「ばあちゃんがしてくれる」と、家族が協力してやっている。こういうパワーのある人に講座をしてもらってはと思った。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・ＰＴＡの立場から、男女共同参画の大切さの確認をしてくれた意見であると思う。

議事内容（要旨）	
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動に関して、今の若い人は、自分の知りたい情報しか取りにいかない傾向がある。いかにそこを見てもらうかが大事になってくる。広報というと、リーフレットやホームページ、ポスター、広報みとよ、防災無線になるが、例えばインスタグラム。若い人は、ハッシュタグで検索する。ハッシュタグで検索して、そこに目が行くようにできないか。どこかの議員さんがチラシ形式の議会報告みたいなのを作って、町の人が議会に意識を持ってくれるようになった。いかに見てもらえるかが大事になってくる。 ・国や県の情報を発信するという項目が多いが、三豊市独自のもの、国や県にない三豊市の特色があると思う。その中に三豊市の何かが入っていると、身近に感じられるのではないかと思った。 ・女性の参画で、「自治会の女性の参加を目指す」と書いているが、実際になぜ女性が参加しないのか。アンケートを取った問題点。なぜしないのかが分からないと、具体的な対策が分からない。これから分析が必要になってくる。 ・ワークライフバランスのところで、もう少し企業さん向けのアプローチがあってもいいのかなと思った。例えば、企業さんが集まってワークショップを開いたりとか、男女共同参画の中で困っているところの相談窓口を作ったりだとか。私たちも相談活動をしていて、ワークライフバランスで悩んでいるお母さんお父さんがすごく多い。もう少し企業さんが考えてくれたらお互いがうまくいくのと思うところがある。家庭だけが頑張ってもだめで、市が頑張ってもだめで、地域全体で支えていかないと子育て支援は上手くいかない。今の若い人たちは、ワークライフバランスを企業を決める上で重視する傾向にある。そこは企業さんのためにもなると思うので、企業さんに対するアプローチができないかなと思った。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・他の市町村もいくつか担当しているが、自分の市や町から出すことで終わっていることが多い。これありますからどうぞ、これやります、これしましたではなくて、もっと入り込んでいく。企業は産業政策課が担当しているが、実は企業向けが一番難しい。理解が得られない。役所の人をもっと入り込まないといけない。引き出すための工夫、アイデアを出さないと、ワークライフバランスも含めて、伝わらない。非常に難しいが、これからの時代、多様性の中で取組方の工夫が必要であると、同じ意見である。
小林委員	<ul style="list-style-type: none"> ・③啓発活動補助金について、このことを香川県男女共同参画推進委員の会議で話をしたときに、県内の他の地域からうらやましがられた内容であった。ぜひ続けてほしいが、参加団体が少ないと昨年度伺った。事例の発信ができたらいと思う。 ・④経営者向け女性活躍推進セミナーは、昨年度参加させていただいた。中村さんの話は参考になったので、経営者向けではあるが、経営者だけではなく私たちも参加させてもらいたいと思った。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・いいことをしているので、それをどう浸透させるかというところ。

議事内容（要旨）	
石川委員	<ul style="list-style-type: none"> 資料 2-2 のNo.48「国際理解と国際交流活動の推進」で、先ほど秋山様が話をされていたところで、当社で確定している事業者としてやっていこうとしているところと、今後話ができたならなというところがある。 当社はコロッケを作っている会社で、原料のジャガイモを北海道で収穫している。契約農家と地元の農協組合員の方、大学と提携して、この8月9月で中国四川省の大学生が20名ほど来て、産学協定のような形で、学びつつ収穫体験をしながらの国際交流を計画している。本社のある三豊市では食品加工になるので、その辺りの実現はどうかというところではあるが、まずはそこを成功させて三豊市の国際活動につながればと思っている。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> 活性化に寄与できるのではないかと。三豊市全体を考えて、いろんな広がりがある年代を超えて出てくる可能性がある。
大矢根委員	<ul style="list-style-type: none"> ④経営者向け女性活躍推進セミナーの開催と⑤三豊市男女共同参画推進ネットワーク会議の活動についてお尋ねしたい。ネットワーク会議ができた頃は産業政策課が担当だった。男女共同参画に関する活動の実戦部隊、シンクタンクであると市長はおっしゃった。市長さんが出てきて一緒になってともに歩んだことを覚えている。その頃は35団体であった。推進体制の図の人権課と三豊市男女共同参画推進ネットワーク会議は、連携という2本の線で結ばれている。昨年セミナーをするについては、ネットワーク会議にはほとんど知らされていなかった。当日、ネットワーク会議の啓発物品である手袋を渡すのでいてほしいと言われ、副会長である私がその会に出た。それから、子育て支援課がゆめタウンの前で子育てについてのパンフレットを渡すので、ネットワーク会議から手袋を500渡すようにしていると事後承諾だった。ネットワーク会議の会計から出た物品である。当日も5、6人が手伝った。いろんな取組が決まった後に知らされる。人権課の業務の一部がネットワーク会議のような、寂しい気がしている。シンクタンク、実戦部隊であると作られたネットワーク会議が、違うところで位置しているような気がしてならない。各団体の長が中心に集まっており、22団体いる。ネットワークの主な行事なのに相談がなかったり後から知らされたり、ちょっと違うと思う。令和5年度の事業計画を進めるに当たって、その部分の説明がほしい。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> 推進体制、最も大事なこと。連携の意味合いは変わってきているが、いかに実践がそこに伴うか。個人的には、協議会には部長や各課長がいるので、この協議会と推進ネットワーク会議はもっと直結してもいいのではないかとというぐらい。そのぐらいネットワーク会議の重要性が見直されなければいけないという意見が含まれていたように思う。推進体制については、より強化するためにどうするのか考えるべき大事な内容だと思う。 今の意見について、部長何かないか。

議事内容（要旨）	
米谷市民環境部長	<ul style="list-style-type: none"> ・担当として人権課になっているが、今日参加している各課と横の連携を十分しながら進めていくのが当然のことです。5年度以降の進め方については、その辺りを十分検討して、ご意見をいただいたので、連携の意味、推進協議会とネットワーク会議のあり方を考えながら進めて参りたいと思います。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・推進体制の見直し、充実、強化は大事なことなので、よろしくお願ひしたい。
柚本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今回3次から4次に移行して、中身的にも精選され項目も3分の1ぐらいになって非常にいいものができたと思っている。 ・（資料2-2）No.22「意識改革」の中の「多様な学びの場の充実」で「多様な学びの場への男性参加の推進」、要するに男性を引っ張り出そうという話。その中で「男性も参加しやすいセミナーを考える」「講座を考える」こういう発想はよいと思う。どんなセミナーを考えているか。 ・（資料2-2）No.24に共同参画展を未来図書館でやったと書いている。6月に実施したということなので、その内容とか入場者はどうだったのかを知りたい。年1回ということなので、複数回実施するのはどうかという提案である。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局、いかがか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・No.22について、男女共同参画を推進する上で男性の参画はもちろん大事なことであります。今年度も予定・計画はありますけれども、そこにどのように男性を呼び込んでいくかは今後の検討というか、申し訳ないが具体的な方向は出ていないので、考えていきたいと思っています。 ・No.24については、男女共同参画企画展ということで、みとよ未来図書館で6月1日から14日に県のパネルをお借りしたパネル展をしました。また、男女共同参画やLGBT関係の図書を紹介して、男女共同参画もそうですし、多様性の社会を実現していきましょうという市民啓発をしております。図書館と人権課がタッグを組んで毎年していますが、何回するかは考えていきたいと思っています。今は、6月の男女共同参画週間に合わせて実施しています。
柚本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館にパネルは常設か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・県に借りています。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・では、前田委員。
前田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員に関することで、資料2-2 No.39「地域における女性活躍の場の拡大」の項目について、民生委員は福祉課が担当だがここに福祉課は入っていないが、関連して話をさせていただく。平成18年三豊市ができたときの民生委員は166名、男女の比率は7：3で女性が少なかった。いろいろ働きかけて、現在はほとんど差がなくなった。三豊市には7つの民生委員児童委員協議会があって、女性の副会長はときどきいたが、会長は1人もいなかった。昨年12月に改選があって、仁尾地区で女性の会長が生まれた。7つの内3、4カ所で女性会長がいてもいいわけで、今後増やしていきたい。なり手不足のところもあるので、女性がリーダーとして会長・副会長になれるような環境を作っていくかと思ふ。福祉課にも協力いただいて進めていければと思っている。

議事内容（要旨）	
北川副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・私は第3次の途中から副会長になって、途中経過のところからであるが、コロナと重なってできないことがすごくあると感じていた。第4次プランはコロナが明けてそこを理由にはできないので、「×」になっていたところは、いい方向に実施していただけたらと思う。今年度の事業計画のところも、広報・啓発の仕方もSNSとか、コロナも終わったことで、いろんな工夫が必要と思った。こういった意見は前から出ているので、引継とか大変だと思うが、反映できる部分は反映してもらいたい。 ・連携というところで、新しいプランには担当課が「全庁各課」というのが2個。全庁各課がそれぞれやるのではなく、合同で考えると、そういう形で各課が連携し合いながらやっていると、ネットワーク会議との連携にもうまくつながっていくのではないかと思った。
山神会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・第4次プラン、令和5年度が始まっているが、進めるに当たって、貴重な意見・指摘をいっぱいいただいた。基本目標の順番も変わったし、基本施策もよりしっかりとした、第3次を踏まえたものになったと思っている。多様な時代なので、人権ということをもう一度見つめ直すスタートという考えで進めた。意識をどうしていくのか。具体的に何をやるのか。「一人ひとりが自分らしく輝く三豊市」という自立へ向かうということで、ストーリー性もできたと思っている。それを市から一方的に送るのではなくて、地域の方々のニーズをいかに捉えられるか。この辺りが、今後の市政の男女共同参画を中心としたサービス、「誰もが住みやすく働きやすいまちへ」というサブテーマへ行くためには、多文化共生といったところもこれから重要なポイントになると思う。そういう意味では、推進体制は絶対見直すべきだと。特にネットワーク会議をいかに生かしていくか。双方向になるように、しっかりと充実した推進体制を作り直すべきだと。項目も精選されたし、今日の会議で各課の協力の意識もできたと思うので、それを具体的に進めていくために、ネットワーク会議の充実、それと人権課に偏りすぎていると前々から思っていた。人権課の業務が多すぎて、これまで人権課の大変さを横で見っていた。この辺りの推進体制の見直し、そこからスタートだと思う。 ・三豊市の委員の皆様は一番活発。市のために、貴重なご意見だと思うので、事務局も反映できるようによろしく願います。 ・これで司会を終わりたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・閉会

以上